

きよで愛活動

鹿児島県警では、薩摩藩の人材教育・育成の基盤となった郷中教育を範とした「きよで愛制度」を取り入れ、若手職員の育成に努めています。

鹿児島三大行事の一つでもある妙円寺詣りに、鹿屋署のほか県内の警察署から「きよで愛」のメンバー（兄・姉・弟・妹）が参加しました。

沿道から多くの声援をいただき、参加した職員からは「きっと一人では歩ききることはできなかった」という感想がありました。

道中では、所属間の交流も図ることができ、所属の垣根を越えて助け合い、共に困難を乗り越えたことでさらに「きよで」の絆が深まりました。

